



01 Y-ACT

「Y-ACT」は、グローバル人をめざす皆さんの強いミカタです。

[域学共創学習プログラム]では、様々な学びの用途に適したアクティブラーニングスタジオ、「Y-ACT」室を使用します。この部屋のおもな使い方は6つ。
1) [域学共創]授業で使用するをはじめ、2) 自主ゼミ学習(ラーニングcommons)や3) 各種の研究発表会、さらには、4) 海外大学等、学外とのWEBミーティング、5) 大学生の自主的な学習会、フォーラム、6) 映像設備を活かした自主的な展示会などに活用できます。世界と繋がるさまざまな設備を活かして、グローバル人への第一歩を踏み出そう。

02 ピーナッツ・テーブル

グループ学習に最適なテーブルを使います。ピーナッツの殻を破って、みんなで世界へ飛び出そう。

ユニークなピーナッツ型のテーブルを使って授業を展開します。3人単位/6人単位の学習パターンを切り換えながらグループ学習が可能です。授業のなかで様々な仲間とディスカッションすることができます。普通の教室とはちょっと異なる環境で、リラックスしながら思いっきり話し合う時間にしてください。

03 ラーニング・commons

Y-ACTは、「ラーニングcommons(グループでの自主学習の場)」としても開放されています。

グループでのレポート作成、プレゼンテーションの練習、フィールドワークの準備ミーティング、さらに外書読書会などの自主ゼミの場として、大学生自らが使い方をアレンジできます。とくに壁掛け式のホワイトボードなどを用いて、ディスカッション&プレゼンテーションの能力を向上させよう。

04 窓マゼール

Y-ACTでは、素敵な窓際テーブルで学ぶ人を「窓マゼール」と呼んでいます。

遠くの間々を眺めながらリラックスして学ぶことができる、とっておきの場所です。基本的に朝から夜まで開いているので、[域学共創]授業の前後での自主学習に使えます。この部屋では、適宜、学習サポーターやプログラムコーディネーターのアドバイスを受けながら、グローバル人をめざす学びを深めることができます。ちなみに、地元山口県産の木材を用いたこだわりのテーブルです。

05 10のリテラシー

1年生から4年生まで、10の力を段階的に習得することができます。

「グローバル人材とは？」を考えつつ自分の学びのマネジメント力を身につける[域学共創1]、地域のキーパーソンから地域の文化資源や地域課題について学ぶ[域学共創2]、産学公の講師とともに地域課題に関するテーマについて調査分析を行い、留学先での研究計画を立てる[域学共創3]、さらに、留学中の研究成果を日本の地域で実践する[域学共創4]と、体系的な授業構成で段階的にグローバル人に近づくことができます。

06 アクティブ・ラーニング

最新の設備が整った教室で、アクティブ・ラーニング(主体的な学び)を中心とした授業を展開します。

Y-ACTでの学びの基本は、グループでお互いに話し、考え、発表すること。個人学習では得られない共同学習の面白さを存分に楽しもう。これまでの用途が固定的な教室とは異なり、大学生がその使い方を主体的に考えながら、様々な学びのスタイルを実践することができます。受講生からは、「チームワークで学習するのがすごく楽しいです」、「フルコマの日ですが、疲労を感じないほど楽しい授業です」などの感想が。

07 WEBレクチャー

WEB会議のシステムを用いて、気軽に海外とのコミュニケーションを愉しめます。

Y-ACT備え付けの大型スクリーンとWEB会議システムを使用し、海外大学など遠隔地からのレクチャーをタイムラグなく聴講することができます。とくに[域学共創]の中では、海外留学中の大学生とWEB中継し、留学の楽しさをより実感できたり、「留学前に準備すべきことは？」などの質疑応答ができるようなプログラムがあります。

08 Y-ACTセミナー

授業以外にも、グローバル人として第一線で活躍するスペシャリストたちのレクチャーを提供します。

Y-ACTセミナーでは、グローバル研究の第一人者やグローバルな企業人たちを講師にお招きし、政治・経済・文化など様々な側面から「地域社会にとってのグローバル化とは何か」というテーマを掘り下げ、「グローバル化によって得られるものは何か」について考えていきます。これまで、ドレスデン工科大学やポーランド科学アカデミーなど世界各地からの講師をお招きしました。

09 文化のつなぎ手

地域の文化を継承し、支えているキーパーソン(文化のつなぎ手)たちに会えます。

[域学共創]の授業では、地域に息づく文化がどのように継承され、今後、自分たちの関わりによってどのように展開していくことができるか、というテーマに一貫して取り組んでいきます。「文化のつなぎ手」たちから刺激を受け、自らもまた「地域文化のつなぎ手になる」ことをめざしています。さらに、在学中における海外での研修・留学経験を活かし、グローバルな視点からこのテーマを具体的に掘り下げっていきます。

10 地域プログラム

グローバル視点から地域課題を考え、アイデアを具体的に実践してみる。

[域学共創]では、授業のグループ学習において発案されたアイデアを端緒に、実際に地域に向いて課題を解決していくという実践的な学びのスタイルをとっています。これまで、山口県・北九州食品商談会でのヒアリング調査や、中原中也記念館での文学カフェの開催など、地域の皆さんとの協働で実施してきました。行動力こそ、グローバル人に必要な能力。ぜひ、自分のアイデアを地域で花開かせてみよう。

11 チュートリアル・サービス

チュートリアル・サービスで、「もっと学びたい」、「より深く学びたい」をサポート。

上級生や大学院生が学習サポーターとなり、受講生のためにライティング・チュートリアル・サービスを行っています。[域学共創]等の授業課題で作成するレポートや、交換留学の志望理由書などの文章作成についてアドバイスをしています。サービスが提供される時間帯は、教室の入り口に掲示します。本学の学生なら誰でも利用することができます。

12 プログラム・コーディネーター

グローバル人をめざす皆さんの学びをしっかりとサポートします。

[域学共創学習プログラム]は、専任の先生(プログラムコーディネーター)が運営します。授業以外の時間にも、海外経験豊富な先生から、適宜アドバイスを受けることができます。かならず事前にアポイントメントをとって、Y-ACT隣の準備室を訪ねてください。 電話:083-928-4788 / stamura@yamaguchi-pu.ac.jp

